

北海道ブロック支部ニューズレター 春号

支部長 木村 眞司 副支部長 川畑秀伸 臺野巧 山田康介

【ブロック支部設立について】

連合学会設立後、全国が 8 ブロックに分けられ北海道ブロックという枠組みができることとなった。すでに北海道内にプライマリ・ケアや地域医療に関する研究会や団体は存在していたが、関係者の議論の結果それまでの団体とは別の形でブロック支部が設立される運びとなった。その後、沿革に示すような経緯で平成 24 (2012) 年 6 月、支部が正式にスタートした。

【沿革】

平成 23 年

10月30日 ブロック支部代議員懇談会 山本和利理事が暫定代表に就任

平成 24 年

1月21日 ブロック支部代議員会

4月11日 幹事・監事選挙当選者確定

4月27日 支部長選挙当選者確定

5月13日 ブロック支部新代議員会。副支部長決定。代議員から意見を集約。

6月17日 幹事会

6月23日 定期総会(規約承認)

10月13日 幹事会、生涯教育セミナー、後期研修交流会

平成 25 年

1月10日 幹事会

【第 1 回生涯教育セミナー、後期研修医交流会開催】

生涯教育セミナーを平成 24 年 10 月 13 日(土) 14 時 30 分より札幌医科大学にて開催した。

支部長による基調講演、3つのワークショップ、教育講演(トピック:緩和医療)が行われた。同時に後期研修医交流会も開催され、普段は一堂に会することができない北海道内のプログラムの後期研修医が参加し、様々な議論が交わされた。

また、幹事会、懇親会も本セミナーに前後して行われ、情報交換や親睦の場となった。親睦会ではブロック支部の事務局が置かれている松前町立松前病院から豪華な本マグロ 1 本の差し入れを賜り、参加者全員至福のひと時であった。

【地域枠学生の卒後臨床研修に対する要望書を北海道に提出】

平成 20 年度に策定された北海道医師養成確保奨学資金等貸与制度を利用している学生(いわゆる地域枠学生)の一期生が平成 26 年 4 月より臨床研修を開始する。各研修プログラムからの意見をとりまとめ、平成 24 年 10 月に北海道医療対策協議会に要望書を提出した。以下の 2 点を要望した。

①道が地域枠学生に望む医師像を明確にすること。

②総合診療医を志す学生が本学会の家庭医療後期研修プログラムに参加し早期に家庭医療専門医の取得が可能となるよう、義務年限の枠組みを再考すること。

【プログラム責任者の会】

平成 24 年 11 月 17 日、北海道プライマリ・ケアネットワーク主催の「北海道家庭医療フォーラム」の中で、第 1 回家庭医療後期研修プログラム責任者の会を共催した。1 時間という短い時間だったが、

①家庭医療後期研修責任者間の情報共有

②家庭医療後期研修プログラム運営における悩みの共有

③北海道ブロック支部全体でのプログラムの質向上

④北海道における後期研修医の増員

⑤指導医のスキルアップ

を目的として、今後も継続することを確認した。

【平成 25 年度の予定】

6月1日(土) 幹事会

6月22日(土) 地方会および総会(札幌)

11月30日(土) 北海道プライマリ・ケアフォーラム(札幌)(学生や初期研修医向け)